

学校だより
6月号

やさしい子 たくましい子 考える子



黒門

発行日 令和4年6月1日
発行者 台東区立黒門小学校
校長 石田 隆

尋常小學校ノ教科ヲ卒業セシコトヲ證ス

校長 石田 隆

校長室の壁面にある歴代校長の写真。子供たちがその写真を見上げ、「なぜ昔の先生には髭(ひげ)があるのですか?」「どうして写真の色が違うの?(白黒とカラーの違い)」「勲章をつけている先生がいる!」など、現在との違いを見つけながら、長い歴史を感じている場面がよくあります。

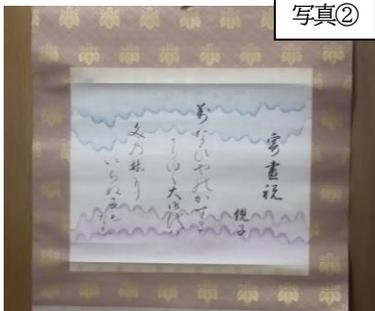
112回目の創立記念日(5月7日)の2週間前。一人の高齢男性がご来校されました。「母の遺品を整理していたら、黒門小学校の昔の様子が分かるものが数点ありましたので、資料として必要であれば…」と卒業証書や写真などをご持参されたのです。

大正6年生まれのお母様の卒業証書には、表題の言葉「…卒業セシコトヲ證ス」と、卒業月日の「昭和四年三月廿五日」、そして、「東京府東京市黒門尋常小學校長安西國太郎」のお名前が書かれています。また、「昭和参年度黒門臨海園」と書かれた臨海学園や、**正門(と思われる)前での集合写真(写真①)**など当時の一片を知る貴重な資料をいただきました。あらためて、一滴一滴を繋ぎ豊かな水を湛(た)えていた大河と黒門を創り上げてきた先達の姿を思い浮かべることができました。



写真①

創立100周年記念誌には、創立以来の各年の卒業写真が掲載されていますが、今回寄贈された昭和三年度の集合写真は収集できていなかった年の分だったので、二重の喜びを感じました。



写真②

久邇宮大妃殿下の御歌 拝受 昭和5年11月10日

『本校復興建築(現校舎)落成式を挙げるに際し、久邇宮大妃殿下より保護者西川大六氏を通して、御真筆による歌をいただく』

台東区教育史資料第六巻に上述の記事と、校舎内に「御歌の掛け軸」(写真②)を発見したのは、創立100周年の記念事業を進めていた平成21年のことでした。育ての会(周年実行委員

や広報・特集担当の方々)の調査と、卒業生である書道専門家のご協力で、草書で書かれた歌を判読、解釈を知るに至りました。

5月2、9日の児童朝会でこれらを紹介しました。**90年以上前の「本物」**を前に、子供たち、そして教職員からも感嘆の声が漏れました。母校を知り、母校をより愛することに繋がったようです。

寄 盡 祝
萬^まなびや能^の
さ^さりゆ^ゆく
大^お御^ご代^{だい}八^は
文^ふ乃^の林^の耳^{みみ}
い^いら^らぬ^ぬ子^こ毛^もな^な志^し
か^かず^ずま
倶^ぐ子^こ

【注:久邇宮倶子(くにのみやちかこ)様は、昭和天皇・香淳皇后の母君でいらっしゃいます】